

6期24年、区民とともに 暮らし・福祉と平和を守る たしかな力

区議会議員

こ ばやし ゆき お
小林行男

9条を守り平和外交すすめ
憲法を生かした政治に



日本共産党

ごあいさつ

みなさんのご支援で6期24年、区議会に送っていただきました。来年4月(2023年)の区議選も挑戦します。新型コロナウイルスの感染拡大でこの3年余り、その影響から区民のいのちと暮らしをどう守るかが最大の課題でした。しかし、自公政権は、成り行き任せのコロナ対策や軍拡を進める一方、医療・介護・年金などの負担増と給付の削減を押しつけています。

最も身近な地方自治体の荒川区が区民生活の実態と声を受け止め、悪政から暮らしを守る防波堤にならなければなりません。

日本共産党は、区民の声を生かし、道理ある提案で区民要求実現の先頭に立ってきました。今後ともよろしくお願ひします。



JCPサポーター
公式サイト



区議団
公式HP

プロフィール

1955年東尾久生まれ。

赤土小、九中、足立高校を経て淑徳大学社会福祉学部卒業。都内の公立福祉職場勤務後、95年から区議6期。その間、区内の市民と野党の共闘、反核平和運動にも尽力。現在、区議会文教・子育て支援委員会副委員長、健康・危機管理対策調査特別委員会理事。

お気軽にご相談ください

荒川区役所
議員団控室

直通Tel: 03 (3802) 4627
E-mail: arajcp@tcn-catv.ne.jp

東尾久相談室

荒川区東尾久2-37-3
Tel: 03 (3895) 0508

定例
法律相談

毎月第3火曜日午後6～8時
**区政・生活相談は
随時ご連絡ください**

主な活動地域

東尾久1～8丁目(4丁目49～53番を除く)、
荒川5・6丁目、西日暮里1丁目(道灌山通り北側)と6丁目

あらかわ民報

2022年11・12月号外

発行責任者: 高月昭 荒川区東尾久6-35-8-204

日本共産党荒川区地区委員会は、小林行男区議の略歴などを紹介しています。

「活動の 原点は憲法」— 暮らしと平和まもる 区議団長

小林行男さん

安全で住みよいまちづくりに努力

小林さんは、木造住宅が密集する地域の防災強化を求めるとともに、学校の危険なブロックの撤去などをすすめてきました。熊野前の無料駐輪場や「東尾久本町通りふれあい館」などまちづくりへ努力をつづけています。



「消費税を下げて」など商店のみなさんをはじめ街のみなさんの声をコマメに聞きます

高齢者の暮らしを助けて

いつも気さくに区民の声を聞く小林行男さんは、子育てから介護まできめ細かく改善に力を尽くしてきました。高齢者が安全に歩けるようにシルバーカーなど日常生活支援用具の支給をはじめ、最近ではシルバー人材センターの手当(配分金)の増額にも力を入れています。

区内の反核・平和運動の先頭に

「自分の活動の原点は憲法、9条を生かした外交を」「ウクライナ侵略は許せない、ロシアは即時撤退を」と訴え続けています。区内の反核・平和運動の先頭に立ってきた区議団長の小林さんは暮らしを守り、平和を願う荒川区民にとってかけせない代表です。



子育てから介護まで 希望のもてる区政へ

お約束



- コロナ、物価高騰から暮らしと営業を守るため区の独自支援をもとめます
- 保健師など専門職員を増員し、保健所を強化します
- 区立幼稚園・こども園の廃園計画は見直し、保育の質のガイドラインを作成します
- 小中学校の給食を無償化します

- 介護保険料を引き下げ、高齢者福祉サービスを拡充します
- 補聴器購入費助成の所得制限を緩和し助成額を引き上げます
- 荒川区独自に奨学金の返済支援を実現します
- ジェンダー平等の推進、多様性のあるやさしいまちをつくります
- 「痴漢」「盗撮」など性犯罪をなくすための取り組みをすすめます
- 西日暮里駅前再開発は見直し、犠牲者を出さない防災・福祉のまちづくりをすすめます
- 安全で温もりのある住宅のための家賃助成をめざします
- CO₂排出ゼロ宣言自治体にふさわしい目標と行動をすすめます